

R6第2回

蒲郡市まちづくりDX推進コンソーシアム 会議資料

令和7年3月24日(月)14:00～
蒲郡市企画部デジタル行政推進課

次第

1. 令和6年度の取り組みについて(報告)

- ア 先行取組4分野の課題抽出のためのワークショップ実施報告について
- イ 行政のDXについて

2. 今後の取り組みについて

- ア 先行取組4分野に係る今後の取組ロードマップについて
- イ 健康デジタルプラットフォームについて
- ウ 新しい地方経済・生活環境交付金について

1. 令和6年度の取り組みについて(報告)

ア 先行取組4分野の課題抽出のための ワークショップ実施報告について

<R6まちづくりDXワークショップ概要>

- ◆ 開催日時 令和6年8月7日(水)午前10時～午後4時30分
- ◆ 場 所 蒲郡市民会館
- ◆ 参 加 者 計16名(市民11名、市職員5名)
※先行取組4分野(子育て・交通・観光・防災)×各4名
- ◆ 内 容 ・テーマ『どのようなサービスを提供すると、市民・観光客・地域企業の生活の質を向上させることができるだろうか?』
・各分野ごとにペルソナ(モデル市民)になりきって、どのような悩みや困りごとがあるのかを一日の流れに沿って抽出し、抽出した課題にもとづいてその後のアイデアを検討した。

1. 令和6年度の取り組みについて(報告)

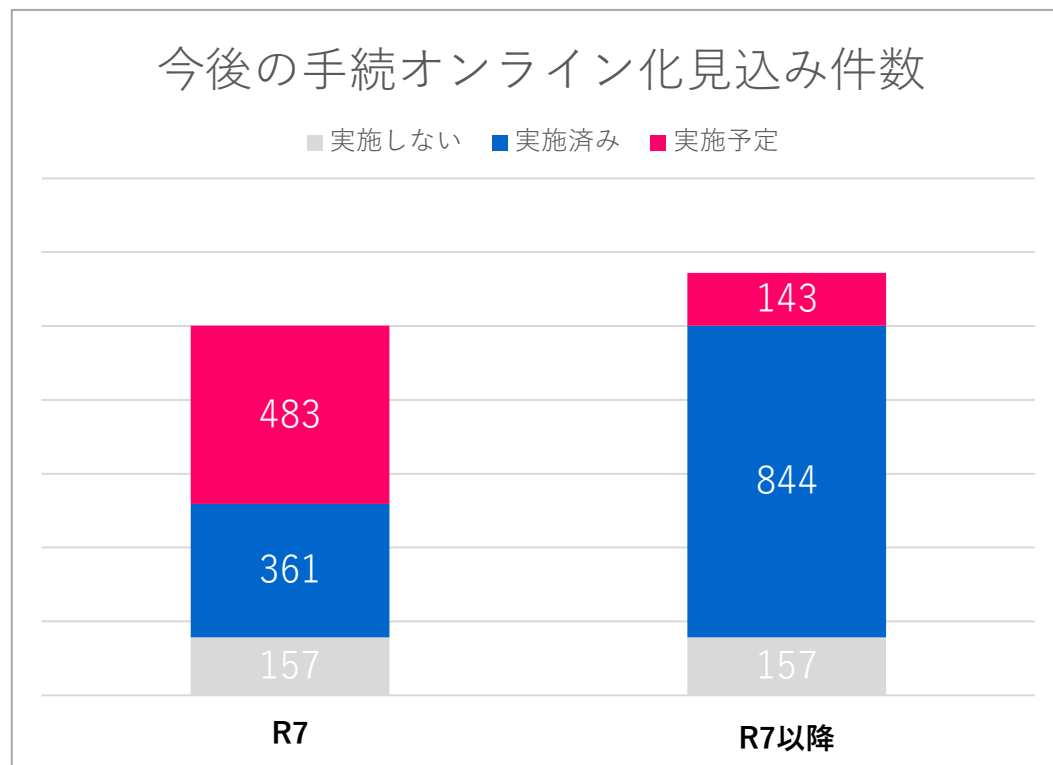
イ 行政のDXについて

(ア) 手続のオンライン化の進捗状況

R4:各課においてオンライン化計画を策定

R7年度末時点の状況(見込み含む)

- オンライン化済み…361
- R7に完了予定…483
- R7以降に完了予定…143
- 実施しない・できない…157



今後に向けて

市民・事業者を対象とする手続を優先的にオンライン化を推進

1. 令和6年度の取り組みについて(報告)

イ 行政のDXについて

(イ)市公式LINEの活用状況

ア 受信設定状況(R7.2月末現在)

- 友だち登録者数:33,169人
- 受信設定済み:13,223人(有効な友だち数の47.1%)

イ 主な機能

- セグメント配信
- 道路損傷の通報
- マイナンバー関連手続きの日曜窓口予約
- 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療(精神病院)受給者証の更新通知

(ウ)がまポイントの状況について (R7.2月末現在)

ア 登録状況

- 登録者数:4,485人(本人確認済:2,017人)

イ R6年度ポイント付与事業数

- イベント:13回
- アンケート:2回
- モバイルラリー:4回
- 環境ニュース:11回
- 環境家計簿:6回

1. 令和6年度の取り組みについて(報告)

イ 行政のDXについて

(エ)SMS配信の実施について

各種手続きの連絡手段として携帯電話やスマートフォンの電話番号にメッセージを送信するSMS(ショートメッセージサービス)を活用した案内を開始予定

ア 導入時期

令和7年4月(予定)

イ 利用シーン

- 税関係のお知らせ
- 狂犬病ワクチン接種のご案内
- 交付物受取等のリマインド通知
- 検診等のご案内
- 助成金等の支払通知

※順次拡大予定

ウ その他

広報がまごおり4月号で周知

次第

1. 令和6年度の取り組みについて(報告)

- ア 先行取組4分野の課題抽出のためのワークショップ実施報告について
- イ 行政のDXについて

2. 今後の取り組みについて

- ア 先行取組4分野に係る今後の取組ロードマップについて
- イ がまごおりデジタル健康プラットフォームについて
- ウ 新しい地方経済・生活環境交付金について

ワークショップ実施後の課題整理

各分野に関する課題について、R6.8.7実施のワークショップから出た市民の課題・アイデア及び個別ヒアリングで出た各担当課の課題を次のように整理しました。

	ワークショップで出た市民の課題・アイデア	個別ヒアリングで出た各担当課の課題
防災	・様々な災害情報を市民が投稿できる等、タイムリーに情報を集約・発信できるアプリ/情報サイトが欲しい ・避難所における更なる環境整備/充実化が必要 ・災害弱者を支援できる体制や環境整備が必要	・収集～伝達系の取組については、一定の対応が出来ている認識。 ・一方で、先日発生した豪雨の際にも影響が及んだ復旧・復興フェーズにおける取組について検討を行いたい。
子育て	・夫を育児に参加させたい ・習い事へのサポート（送迎など）や手ぶら保育が必要 ・アプリを活用したサービス提供をしたい	・手ぶら保育により、保護者と職員双方の負担を軽くしたい ・習い事の送迎負担の軽減に関しては、中長期的な目線で検討が必要（保育園送迎なども検討したい） ・アプリは既に「うーみんナビ」を導入済み
交通	・移動手段の選択肢が少ない ・公共交通機関が使いづらい・自家用車の利用が多いため道路が渋滞する	・道路渋滞については関係各課と連携した取組が必要 ・運転しない人の移動手段の確保が必要 ・再来年度に向けて、公共交通計画策定を予定
観光	・蒲都市の認知度を上げたい ・観光に来た人が、不安なく快適に観光できる環境が必要（インバウンド対応、モデルコースの提示）	・インバウンド対応は継続して取組中 ・施策の効果検証に課題感がある

2. 今後の取り組みについて

ア 先行取組4分野に係る今後の取組ロードマップについて

【防災分野】課題解決に向けたロードマップ

既に取り組みをされている事業の機能強化（取組①）や他自治体においても多数導入し、効果が現れている取組（取組①～③）から検討を開始する。



※実装・実証については、検討・調査により有用性が判断された場合の実施であり見込として記載するもの。
: 次年度の優先取組事項（案）

<全庁的で効率的な被災者支援体制の構築について>

構築により実現が期待されること

現行の被災者支援システム(J-LIS)は、被害世帯、被害状況を入力して被災者台帳を作成するもので、義援金及び支援金の分配にも利用されるが、元となるデータはそれぞれの課のシステムにおいて作成することとなる。

令和7年度に協議会を設けて検討を行い、被害認定から罹災証明発行、義援金等の分配を一元的に管理し、ワンストップで行える新しい支援体制の構築を目指す。

導入に向けた課題

全庁的な意思統一が図れていないため、令和7年度に協議会を設けて検討する。

ご意見いただきたい事項

- ・支援体制構築に向けて全庁的な業務の洗い出し、すり合わせを行う上での留意点
- ・現行のオンプレミスのシステムをクラウド化するにあたっての留意点

2. 今後の取り組みについて

ア 先行取組4分野に係る今後の取組ロードマップについて

【子育て分野】課題解決に向けたロードマップ^o

ワークショップで出たアイデアをもとに、早い段階で取組開始が可能な「子育ての負担軽減」に繋がるソリューションの検討、中長期的には、デマンド型交通サービス・子育てMaas等を検討していく。



 ：次年度の優先取組事項（案）

※実装・実証については、検討・調査により有用性が判断された場合の実施であり見込として記載するもの。

<おむつのサブスク・お昼寝布団サブスク 導入について>

導入により実現が期待されること

- 保育園などへ通園している市民の負担軽減（手ぶら登園の実現）
※公費で利用料を負担することも検討する。
- 子育て支援サービスの充実（移住・定住の促進）

導入に向けた課題

- 利用者意向調査、保育園意向調査等の実施。
→ 調査結果に基づいて課題の整理。
- （※公費で負担する場合）保育園などを利用している市民だけのサービスとなる。
家庭で育児（保育）している市民との不公平感の払拭。

<子育てアプリの機能拡充について>

実現したい内容

■妊娠期から子育て期まで包括し、
個人と紐づけできる子育てアプリの開発及び提供■

- ・ 個人へのプッシュ通知機能
- ・ 電子母子健康手帳機能
- ・ 健診や予防接種等の電子申請等の機能
- ・ 教育・保育施設でのアプリ（コドモン）との連携
- ・ 相談業務に特化したアプリ

導入に向けた課題

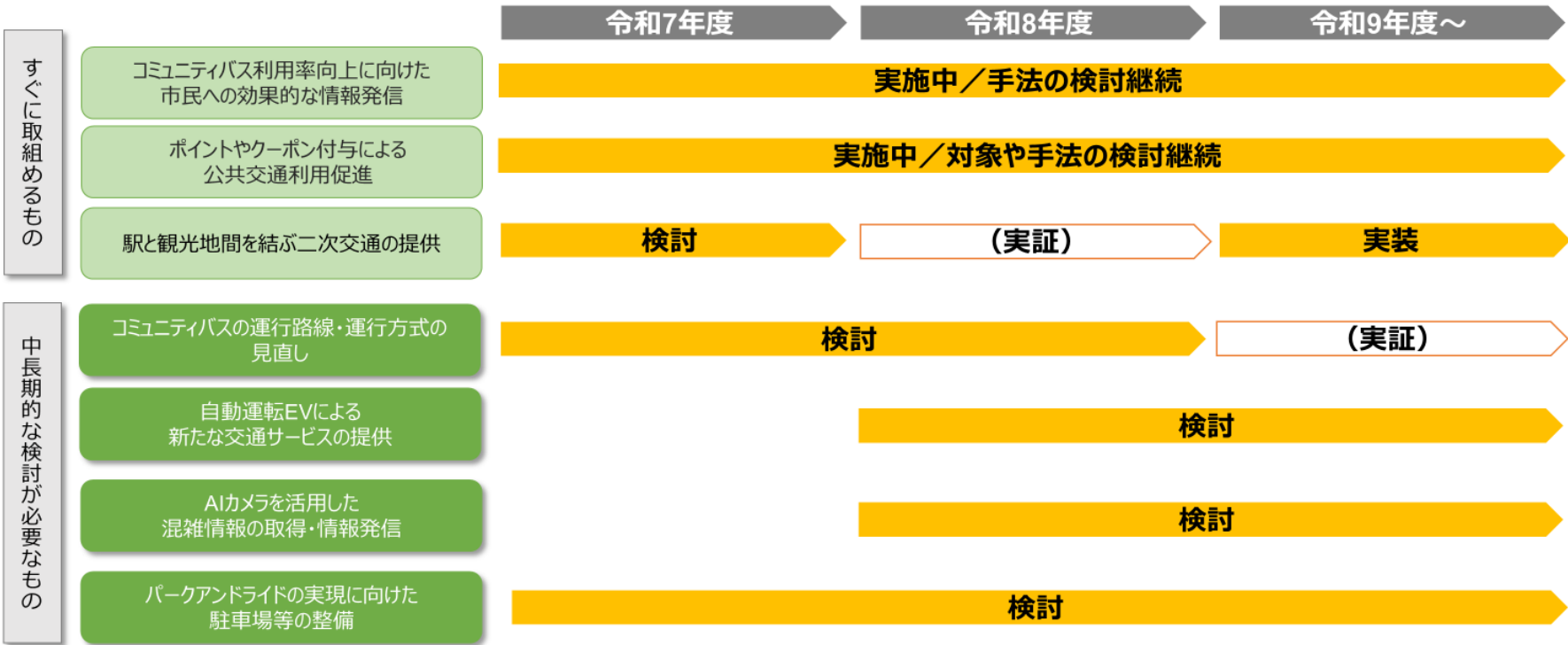
- ・ 他課との連携が必要
- ・ 現行の運用とのギャップ確認。
- ・ 国のこども政策DXの動向を注視する必要あり。

2. 今後の取り組みについて

ア 先行取組4分野に係る今後の取組ロードマップについて

【交通分野】課題解決に向けたロードマップ°

ワークショップで出たアイデアをもとに、他の分野との連携も視野に、交通課題の解決に向けた検討及び実証を進める。



※実装・実証については、検討・調査により有用性が判断された場合の実施であり見込として記載するもの。

<駅と観光地間を結ぶ二次交通の提供について>

導入が期待される項目

- ・ 駅と観光地間を結ぶラストワンマイルとしての移動サービス

導入に向けた課題

- ・ 導入箇所の選定
- ・ 乗り物の選定
- ・ 自家用車での来訪が多い地域のため、需要の確認あるいは需要の喚起。
- ・ 市民にも利用しやすいものが望ましいが、中途半端になる懸念がある。

ご意見いただきたい事項

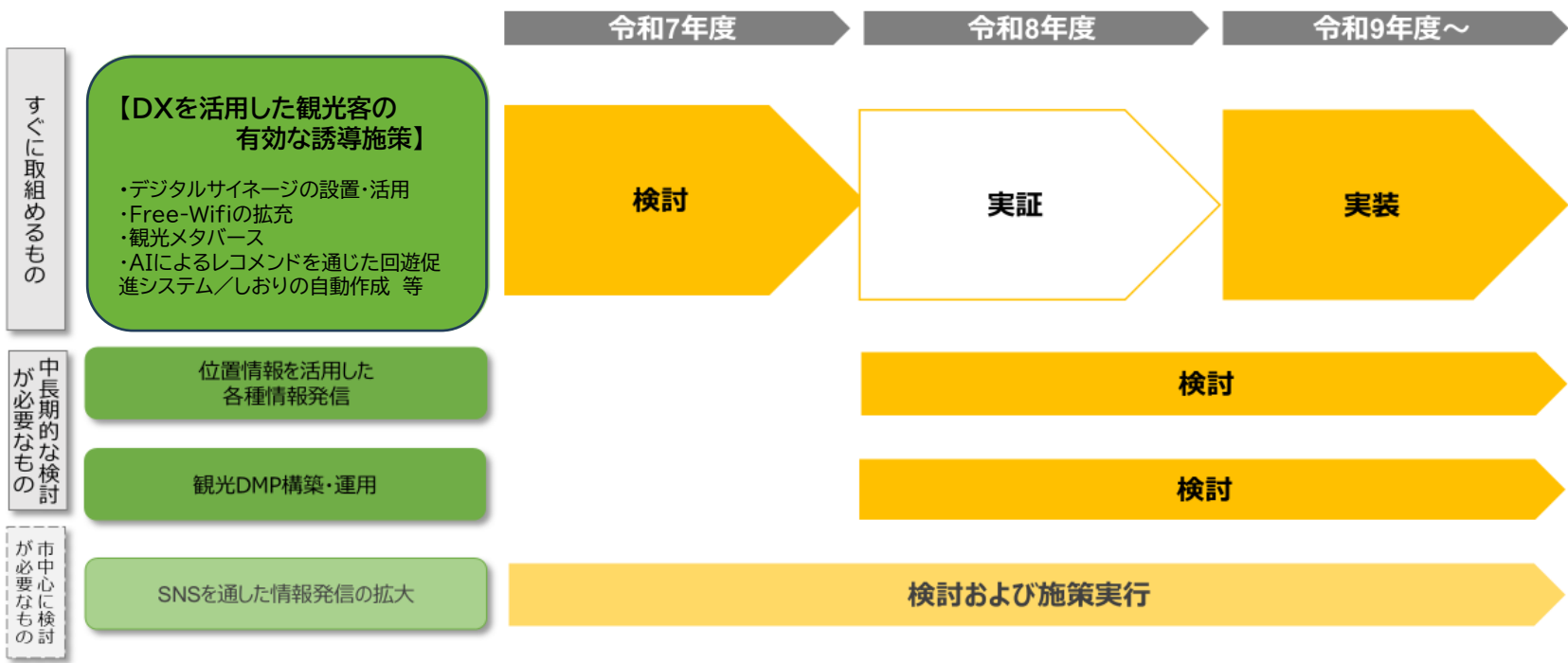
- ・ 導入（実証）箇所としてどこが適切か
- ・ 導入する乗り物は何が望ましいか
- ・ 市民利用は限定的とも考えられるため、観光客に対する魅力を優先して検討すべきか。

2. 今後の取り組みについて

ア 先行取組4分野に係る今後の取組ロードマップについて

【観光分野】課題解決に向けたロードマップ

ワークショップで出たアイデアをもとに、来年度からDXを活用した観光客の有効な誘導施策の検討を進め、具体的な事業を定める。



※実装・実証については、検討・調査により有用性が判断された場合の実施であり見込として記載するもの。

<DXを活用した観光客の有効な誘導施策について>

導入が期待される項目

- ・ デジタルサイネージの設置・活用
- ・ Free-Wifiの拡充
- ・ 観光メタバース
- ・ AIによるレコメンドを通じた回遊促進システム／しおりの自動作成 等

導入に向けた課題

- ・ 課題解決に寄与する事業の選定
- ・ 観光協会との連携
- ・ デジタルサイネージや観光メタバースを設置するスポットの選定

ご意見いただきたい事項

- ・ 認知度向上と受入環境整備について、どちらを優先的に実施するべきであるか。
- ・ 上記項目以外に課題解決に寄与する事業があれば教えていただきたい。

2. 今後の取り組みについて

イ がまごおりデジタル健康プラットフォーム(がまっと！)について

◆事業の3つの柱

①病院や診療所、介護施設、行政が所有する医療介護等の情報
(EHR)の共有

②スマートフォン等で管理されている体重や日々のバイタル、健診結果など個人の健康に関する情報(PHR)の共有

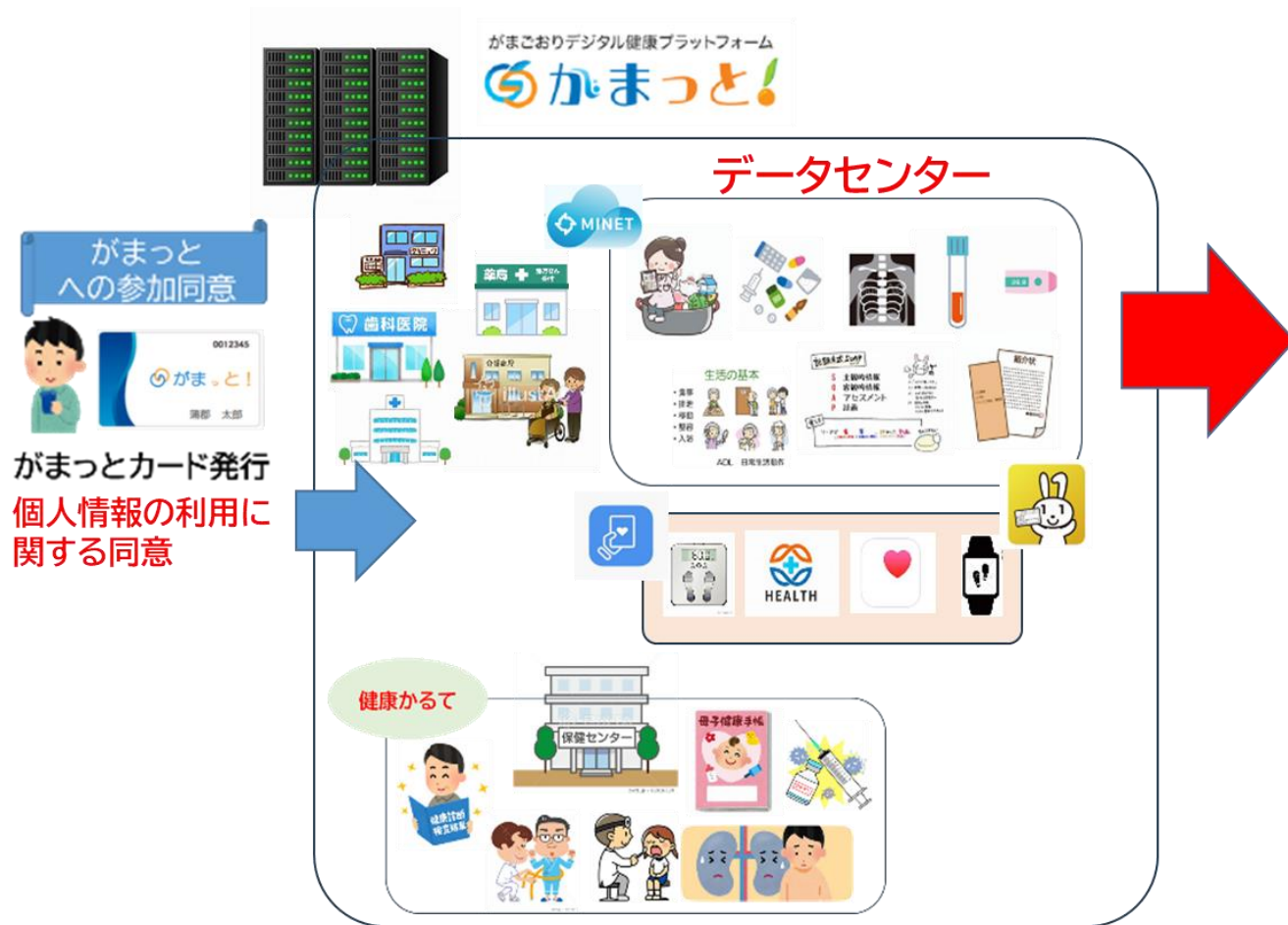
③EHRとPHRを「ひとつなぎ」とするデータ連携基盤を構築。
蒲郡市がデータの所有者となり
データ活用の施策展開により地域課題へ対応



2. 今後の取り組みについて

イ がまごおりデジタル健康プラットフォーム(がまっと！)について

◆行政としての今後の活用



がまごおりデジタル健康プラットフォーム活用検討委員会を設置し、データの活用・EBPMの検討。

市民の健康に関するデータを「ひとつなぎ」とすることで、医療、介護福祉、保健指導等の連携による質の高いサービスの提供及び地域の健康課題の解消を図る。

市民がウェルビーイングを実感する「まちづくり」の実現を目指す。

データの所有・管理責任は「蒲郡市」

2. 今後の取り組みについて

ウ 新しい地方経済・生活環境創生交付金(新デジタル田園都市国家構想交付金)申請案件について

・デジタル実装型TYPE1（申請中）

【公開型GISを活用した農地DX事業】@農林水産課

公開型GISを活用した「みんなで繋ごう未来の農地マップ」を構築し、農地(ハウス含む)を貸したい・売りたい情報に特化した地図情報をリアルタイムで情報提供を可能にし農地のマッチングの促進を目的とする。

▶事業費：9,548千円

【衛星データのAI解析を用いた農地活用】@農林水産課

農業委員会が実施する農地利用状況調査において、衛星データのAI解析を用い荒廃農地を市内全域で推測するサービスを導入する。荒廃農地の状況をデジタル地図上で網羅的に把握することで、①現地確認業務を効率化し、②担い手への農地利用の集約・集積化といった農地利用最適化の活動を促進する。

▶事業費：2,079千円

・デジタル実装型TYPEV・S

申請予定なし

3. 質疑等

4.閉会(ご連絡事項等)

<ご連絡事項>

- (1) 次回コンソーシアム会議について
令和7年度も2回程度の会議を予定しています。
- (2) 委員の変更事項について
人事異動等により役職・お名前に変更が生じた場合は、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (3) 本日の議事録等につきましては4月中旬頃を目安にホームページで公開させていただきます。

<事務局>

デジタル行政推進課 DX推進担当 小出・山本(拓)・北川

電話:0533-66-1209

メール:joho@city.gamagori.lg.jp